Savan PAD The Newsletter
日本語版
May 15, 2020
13

プロジェクトによる支援の継続状況―コロナ問題による制約下で

プロジェクトは、2019 年 11 月から乾季作の活動を開始し、3 月中旬まで研修やスタディツアー等を実施して来ました。その後、ラオスで 3 月 30 日に新型コロナウィルスの感染防止策に関する通知が発令されたことから、当面の間、カウンターパートによる現場での活動が停止されました。
プロジェクトでは、こうした現場に出向けない状況下でも、電話でカウンターパートが農家と連絡を取るなどして、農業生産が継続できるよう助言や支援を行っています。今回は、それらについて紹介します。

1. マーケティング分野の取り組み

①地域の食糧需要を支える農家

新型コロナウイルス感染防止対策措置により厳格な移動制限が敷かれ、物流が円滑でない中、当プロジェクトが支援する農家がサバナケット県内や地域の野菜供給を担っている姿が報告されています。これらの農家には顧客が付き始めており、積極的に野菜を買いに来てくれているようです。特に、ポンシムグループやセサラロン地区（ターパントン郡）の農家は、これまで市場に合わせた野菜栽培、栽培スケジュール管理、規模拡大を行ってきており、こうしたプロジェクトの支援活動と農家の努力により、農業生産及び販売活動が定着し始めています。

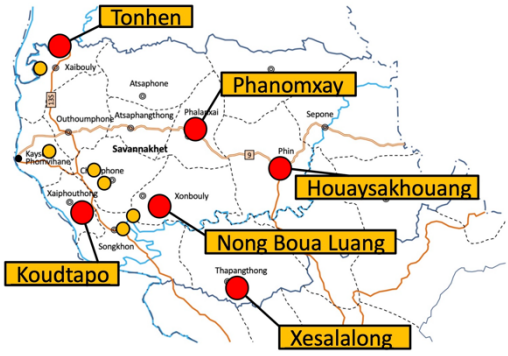
写真上：灌漑水を利用した乾季野菜栽培（セーサラロン地区）
写真下：農家による野菜直売（ポンシム地区）

②雨季作の準備始動

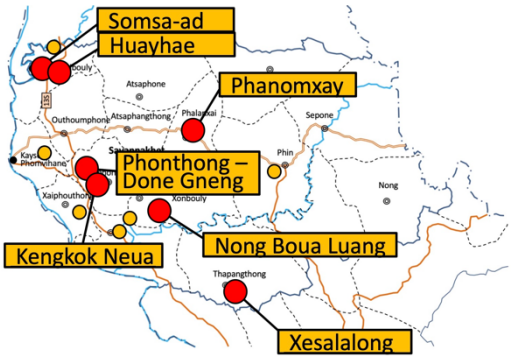
様々な活動が停止する中、当プロジェクト農家は着々と雨季作の準備に取り掛かっていました。2 月から農家と話を進めていた屋根掛け栽培の準備は、新型コロナウイルスの影響で、4 月中はプロジェクトによる現場指導が行えませんでしたが、農家が主体的に支柱の組み立て作業に取り組んでいます。5 月からは、プロジェクト支援によるビニールシートの配布が開始されます。
今年は、昨年に比べて更に雨季の栽培面積が増えています。昨年の雨季作栽培で顧客を掴み、手応えを感じた農家が意欲を見せています。

前年は試行錯誤だったが、販売による現金収入を継続的にゲット。

新規に屋根掛け栽培する地区では、先進農家による屋根設置の研修も。



2. 営農分野の取り組み



生育は順調

収穫に期待！

当プロジェクトでは、稲作技術普及のため種子・肥料の貸し付けプログラムを展開しており、今乾季は5郡7地区で324名の農家が参加しています。
栽培期間中に栽培カレンダーの使い方、種子選別、苗代・移植、適正施肥、自然農薬を使った病害虫対策、収穫・収穫後対策など、計4回の技術研修を行う必要がありましたが、新型コロナウィルス感染防止対策措置による移動制限が発動される前に全てを終了しました。3月下旬から収穫が始まっており、大幅な増収が見込まれています。

3.灌漑分野の取り組み

サイブリ郡ソムサアード地区

ソンナブリ郡ノンブアルアン地区

灌漑は、水利組織がPAFO、DAFOのサポートを受けながら計画的に灌漑準備、灌漑中の施設の管理、水管理を適切に行ってきたことで、新型コロナウィルスに関する影響を受けることなく3月までに終了しました。営農分野、マーケティング分野の活動を水供給の面から連携した結果、ソムサアード地区では191ha（2019年）から約260haに、ノンブアルアン地区では59ha（2019年）から約100haになるなど、いずれの地区も灌漑面積が増大しています。

Savan PAD プロジェクトのカウンターパートは、新型コロナウィルスに負けず、農家を支援しています。

マーケティング分野は、サバナケット県農林局のほか、商工局からの協力も得ながら、農家支援のため様々な活動を展開しています。

県農林局ポーンケオさん（写真左）

県商工局ジャルーンポーンさん（写真左）

県商工局セーンチャンさん（写真右）

次号予告

今号は、コロナ問題による特集号となりました。そのため、当初予定していた県職員によるモニタリング・評価の状況については、次号で報告します。

Savan PAD The Newsletter
The Project for Participatory Agriculture in Savannakhet Province (Savan PAD)
P.O.Box 16, Provincial Irrigation Section, Provincial Agriculture & Forestry Office,
Savannakhet Province (Tel : 041-252497)